

令和8年8月

各都県教育委員会教育長様
各区市町村教育委員会教育長様
各小中学校長様
各教育関係者様

関東甲信越地区中学校理科教育研究会
会長 齋 島 尚 範
第34回関東甲信越地区中学校理科教育研究会
埼玉大会実行委員長 田 中 一 秀



第34回関東甲信越地区中学校理科教育研究会 埼 玉 大 会 (最終案内)

大会主題

自然を科学的に探究し続ける次世代を育む理科教育の創造

〔開催期日〕 令和8年11月13日(金)

〔開催会場〕 ◇開会行事・全体会・公開授業・分科会・記念講演

- 第1分科会【教育課程】 さいたま市立美園南中学校
〒336-0967 埼玉県さいたま市緑区美園 6丁目 15
- 第2分科会【観察・実験】 深谷市立幡羅中学校
〒366-0034 埼玉県深谷市常盤町 38
- 第3分科会【環境教育】 川越市立霞ヶ関中学校
〒350-1175 埼玉県川越市笠幡 72
- 第4分科会【学習・評価】 川口市立高等学校附属中学校
〒333-0844 埼玉県川口市上青木 3丁目 1番 40号
- 第5分科会【特色ある理科教育】 久喜市立久喜南中学校
〒346-0029 埼玉県久喜市江面 85

〔開催日程〕

9 :40		10:00		10:50		11:15		11:40		12:00		12:20		13:20		14:25		15:30		16:10	
受付	大会 主題 分科会主題説明			研究発表Ⅰ		休憩	研究発表Ⅱ		休憩	研究発表Ⅲ		指導 助言	昼食休憩 記念講演		公開授業		研究協議		閉会 行事		

※記念講演は事前配信したものを各会場で流します。

※分科会会場によって、多少変更があります。詳細は次の二次元コードをご確認ください。

〔主 催〕 関東甲信越地区中学校理科教育研究会 埼玉県理科教育研究会

〔共 催〕 さいたま市教育委員会



【日程一覧】

〔後 援〕 埼玉県教育委員会 埼玉県市町村教育委員会連合会 埼玉県連合教育研究会
深谷市教育委員会 川越市教育委員会 川口市教育委員会
久喜市教育委員会 埼玉県中学校長会 さいたま市中学校長会
全国中学校理科教育研究会 埼玉県教育公務員弘済会

ご 案 内

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、第34回関東甲信越地区中学校理科教育研究会埼玉大会を埼玉県内五地区に分かれ、開催することとなりました。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。関係各位には、ぜひご参加くださりご指導を賜りますようお願い申し上げます。

なお、理科教育振興のため、関係職員への周知ならびに参加につきましてご高配くださいますようお願いいたします。

〔大会主題設定にあたって〕

これからの社会は変化が激しく、将来を見通すことが困難な時代であり、子供たちには自ら考え、「最適解・納得解・妥当解」を導く力が求められている。学習指導要領においては、各教科の中核的な概念を的確に捉え、社会で生きて働く資質・能力の育成が重視されており、理科教育においても、科学的に探究する資質・能力の育成を柱として、課題設定から観察・実験、考察に至るまで主体的に取り組む力が重要とされている。また、理科の見方・考え方を働かせた探究的な学習を通して、科学的に事象を捉える力を育むことは、未知の状況にも対応できる「生きる力」の基盤となるものである。

一方で、これらの資質・能力を子供たちが実社会の中でどのように生かしていくのかという視点と、日々の理科授業の改善との結び付きが必ずしも十分とはいえず、学びが教室にとどまりやすいという課題が指摘されている。この課題を解決するためには、子供たちが将来どのように学びを生かして社会を生きていくのかという具体的な将来像を描きながら、日々の教育活動を構想・実践していくことが不可欠である。このような取組を積み重ねることで、資質・能力は真に生きて働く力として育成されるものとする。さらにこれは、理科や科学が現代社会や人々の生活にとってどのような価値をもつのかを問い直し、その意義を子供たちに実感させる営みでもあり、最終的には、科学的な見方・考え方をもって主体的に社会に参画し、よりよい未来を創造していく「科学的な市民」として生きる次世代の育成につながる。

以上のことを踏まえ、本大会の主題を「自然を科学的に探究し続ける次世代を育む理科教育の創造」と設定した。

〔記念講演〕 文部科学省初等中等教育局視学官
(オンデマンド)

藤 枝 秀 樹 先生

演 題 『 次期学習指導要領に向けた検討状況 』

〔参加申し込み〕

- | | |
|------------|--|
| (1) 申し込み締切 | 令和8年10月13日(火) |
| (2) 参 加 費 | 無料 |
| (3) 申し込み方法 | 下記のURLもしくは右の二次元コードよりお申し込みください。 |
| | 【お申し込み先 URL】 https://forms.gle/SAGkspiGScFdX6rD7 |



【申込コード】

※何か不明な点につきましては、大会事務局までお問い合わせください。

〔連絡・問合せ先〕

大会実行委員長 田中 一秀 (さいたま市立本太中学校 校長)
〒330-0072 埼玉県さいたま市浦和区領家1丁目4-15
電話: 048-886-4305 FAX: 048-811-1339 Email: motobuto-js-01@city.saitama.jp
事務局 長 谷津 勇太 (埼玉大学教育学部附属中学校 教諭)
〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所4-2-5
電話: 048-862-2214 FAX: 048-865-6484 Email: saitama.rikakenkyu@gmail.com

〔公開授業者及び分科会発表者、主題一覧〕

第一分科会 教育課程	自然や他者と関わりながら、自らの学びをデザインする教育課程			
	〔研究の視点〕 - 探究の過程を通して、科学的に探究する資質・能力を育成する理科指導 - 単元のデザインに、教科横断的な視点からの学びを取り入れた理科指導 - 自らの学びの系統性、社会とのつながりを実感する理科指導 - 地域の環境や人材を活用し、多様な生徒のニーズに対応する理科指導			
	〔公開授業〕 桑原 優里奈 教諭（さいたま市立美園南中学校）『身近な物理現象〈力の働き〉』 大橋 基 教諭（さいたま市立美園南中学校）『生物の体のつくりと働き〈動物の体のつくりと働き〉』			
	研究発表	群馬県	鈴木 駿（高崎市立高松中学校）	全ての生徒が科学的に探究できる授業デザイン～「主体的に学習に取り組む態度」の向上を目指して～
		東京都	中尾 知之（調布市立神代中学校） 市川 大輔（調布市立神代中学校）	植物園を活用した探究学習～神代植物公園植物多様性センターとの連携を通して～
		埼玉県	山崎 麻美（さいたま市立本太中学校）	振り返りを軸とした単元デザインによる学習の自己調整を行う生徒の育成ー中学校第2学年「化学変化と原子・分子」の実践ー
第二分科会 観察・実験	科学的な探究を自ら進める力を育成する観察・実験			
	〔研究の視点〕 - 自ら問題を見だし、探究する意義や必然性をもてる観察・実験の工夫 - 自然の不思議さや精巧さに触れることができる観察・実験の工夫 - 仮説の実証を目指した計画立案と実施を促す観察・実験の工夫 - 結果を分析・解釈し、根拠のある考えを表現する観察・実験の工夫			
	〔公開授業〕 酒井 海翔 教諭（深谷市立幡羅中学校）『身の回りの物質〈気体の発生と性質〉』			
	研究発表	栃木県	松本 卓也（佐野市立北中学校） 西山 嘉一（佐野市立北中学校）	学びの個別化により、科学的思考力を伸ばす授業づくりー観察・実験の個別化の工夫と生徒の変容ー
		山梨県	小林 陽太（北杜市立小淵沢中学校）	観察・実験を通じた、子供主体の授業づくりの工夫～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指して～
		埼玉県	町田 典洋（寄居町立寄居中学校）	“なぜ？”を出発点にする探究の意義や必然性をもてる工夫ー自ら解き明かしたくなるような不思議と触れ合う実験の導入ー
第三分科会 環境教育	持続可能な自然との関わりを探究する環境教育			
	〔研究の視点〕 - 地域の環境や学校の実態を生かし、問題意識を想起する理科授業 - 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする態度を養う理科授業 - 探究を通して、科学的な根拠をもとに最適解、納得解を見いだす理科授業 - 実社会での問題と結び付け、日常生活で発揮される実践力を育成する理科授業			
	〔公開授業〕 國本 千里 教諭（川越市立霞ヶ関中学校）『気象とその変化〈天気の変化〉』			
	研究発表	長野県	畔上 達也（長野市立裾花中学校）	持続可能な自然と社会との関わりを探究する環境教育のあり方ー化学変化とイオンの単元を「化学電池」を核に据えた単元展開を通してー
		千葉県	表田 東洋（千葉市立稲毛中学校）	日常生活や社会に関連付けながら課題解決ができる生徒を育成する指導の工夫ー化学分野と単元「科学技術と人間」に関連付ける学習を通してー
		埼玉県	岩附 泰子（東松山市立北中学校）	「自分も環境の一員である」という意識をもたせる研究～理科と日常生活をつなげるために～
第四分科会 学習・評価	探究の過程での自己の学びを捉え、改善していく学習評価			
	〔研究の視点〕 - 単元前後での自分の考えや学びの成果を捉えたり、振り返ったりする自己評価の工夫 - 自らの学びの改善につなげられる協働的な学びのなかでの他者評価の工夫 - 一人一人が自らの成長を実感できる個人内評価の工夫 - 生徒と教師が目標を共有しながら、学びを構築していく評価の工夫			
	〔公開授業〕 宮本 由香 教諭（川口市立高等学校附属中学校）『化学変化とイオン〈水溶液とイオン〉』			
	研究発表	神奈川県	口地 哲平（藤沢市立湘南台中学校） 桐山 雄三（藤沢市立第一中学校）	主体的・対話的で深い学びを実現する学習指導と学習評価～OPP・KWLの活用による授業改善と評価の一体化～
		茨城県	白水 誉哲（東海村立東海中学校）	生徒と教師が目標を共有しながら、学びを構築していく理科指導の在り方ー中学校第3学年「自然界のつながり」における、単元のデザインと評価の工夫を通してー
		埼玉県	大島 吾一（朝霞市立朝霞第二中学校）	生徒自らが成長や変容を感じられる学び～自己評価と他者評価の過程を通して～

第五分科会 特色ある理科教育	自らの探究を通した学びを豊かにするICTを用いた授業展開		
	[研究の視点] ・教材・情報のデータベースを生かし、個別最適な学びを実現するICTの活用 ・教室での学び合いを促進し、協働的な学びを実現するICTの活用 ・学びの系統性を重視した、単元横断的な学びを実現するICTの活用 ・学びを積み重ね、新たな学びに活用できるスタディログとしてのICTの活用		
	[公開授業] 綱取 健太 教諭（久喜市立久喜南中学校）『電流とその利用〈電流〉』		
	埼玉県	石井 翔大（幸手市立幸手中中学校）	科学的な探究の実現を目指したICTの活用の研究
研究発表		パネルディスカッション コーディネーター 石 崎 昌 稔（行田市立忍中学校） 登 壇 者 石 井 翔 大（幸手市立幸手中中学校） 中 村 天 駿（埼玉大学大学院） 北 畠 謙 太 郎（株）メディア・ファイブLSAI	テーマ『理科教育における生成AIの役割』

〔会場案内図〕

